

# News Release



平成 30 年 4 月 25 日

— たましん中小企業景況調査報告 Vol.172 —

## 前期並みの好調感

製造業で好調感を強める一方、不動産業、建設業で減速。

多摩信用金庫（本店:東京都立川市 理事長:八木敏郎）は、取引先中小企業の景況動向について、四半期ごとに調査を実施しております。今般、2018年3月上旬に行った第172回中小企業景況調査の結果を『多摩けいざい』第84号にて公表しました。なお、『多摩けいざい』は当金庫各営業店の店頭で配布しているほか、地域経済研究所ホームページ (<https://www.web-tamashin.jp/rire/>) からもご覧いただけます。

### 今回の調査について

1. 調査時期 2018年3月上旬（毎四半期実施）
2. 調査内容 2017年10月～12月と比較した2018年1月～3月の実績と、  
2018年1月～3月と比較した2018年4月～6月の見通し
3. 調査方法 調査員による聞き取り調査
4. 調査対象先数 当金庫のお取引先 1,229 先
5. 回答先数 1,219 先
6. 回答率 99%
7. 回答先内訳 下表のとおり

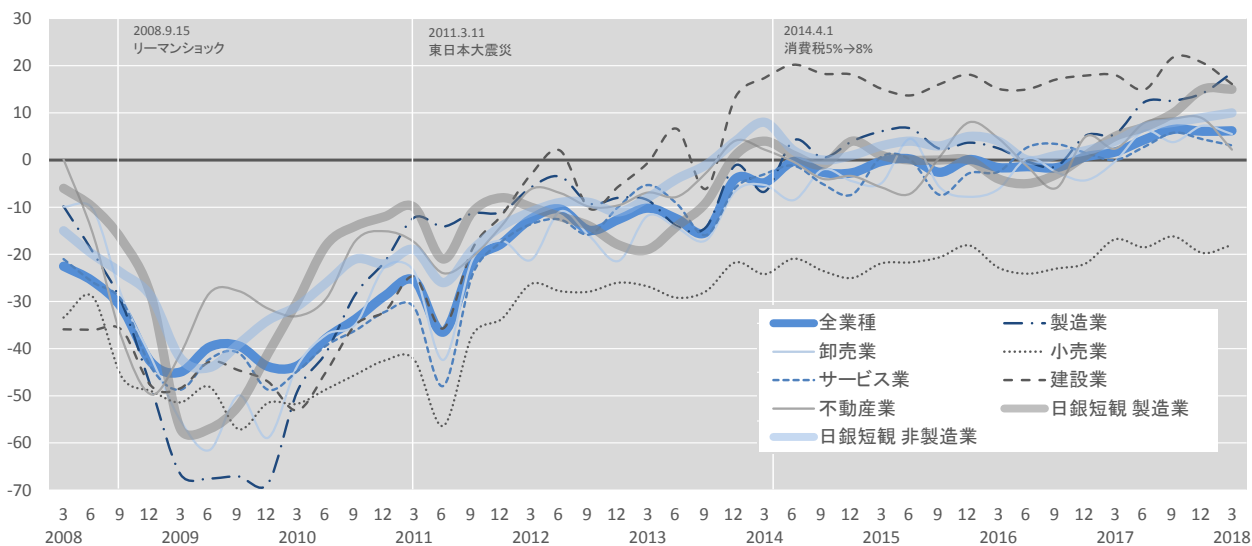
従業者規模	全業種		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率
1～4人	398	33%	71	21%	29	28%	112	55%	88	31%	49	25%	49	54%
5～9人	268	22%	65	19%	28	27%	40	20%	52	18%	60	31%	23	26%
10～19人	208	17%	79	23%	25	24%	16	8%	31	11%	46	24%	11	12%
20～29人	96	8%	40	12%	7	7%	10	5%	24	8%	12	6%	3	3%
30～39人	53	4%	24	7%	1	1%	4	2%	17	6%	7	4%	0	0%
40～49人	50	4%	24	7%	0	0%	8	4%	9	3%	7	4%	2	2%
50～99人	90	7%	24	7%	8	8%	14	7%	35	12%	8	4%	1	1%
100～	56	5%	18	5%	5	5%	0	0%	28	10%	4	2%	1	1%
合計	1,219	100%	345	100%	103	100%	204	100%	284	100%	193	100%	90	100%

## 今期景況調査結果の概略

### <業況概況>

- 全業種の業況判断 DI は、前期より横ばいの 6 となりました。来期は 2 ポイント増の 8 と、ほぼ横ばいで推移する見通しです。
- 規模別に見ると、中規模企業では 1 ポイント減の 15 と、前期よりほぼ横ばいで好調を維持しています。小規模企業では、1 ポイント増の▲2 となりました。来期は、中規模企業では 2 ポイント増の 17、小規模企業では 1 ポイント増の▲1 となる見通しです。
- 業種別の業況判断 DI では、製造業が 5 ポイント増の 19 と、好調感を強める一方、不動産業が 7 ポイント減の 2、建設業が 5 ポイント減の 16 と、好調感を弱めました。その他の業種は、前期よりほぼ横ばいとなっています。来期は、不動産業で 11 ポイント増の 13、卸売業で 5 ポイント増の 11 と好調感を強める見通しです。

		2017.12	2018.3	変化幅	2018.6 (見直し)	変化幅
全業種	中規模企業	16	15	-1	17	+2
	小規模企業	-3	-2	+1	-1	+1
	計	6	6	0	8	+2
製造業	中規模企業	22	26	+4	29	+3
	小規模企業	9	14	+5	11	-3
	計	14	19	+5	18	-1
卸売業	中規模企業	15	15	0	18	+3
	小規模企業	-9	-18	-9	-7	+11
	計	7	6	-1	11	+5
小売業	中規模企業	-4	-3	+1	-2	+1
	小規模企業	-33	-31	+2	-25	+6
	計	-20	-18	+2	-14	+4
サービス業	中規模企業	16	13	-3	11	-2
	小規模企業	-22	-19	+3	-22	-3
	計	4	3	-1	1	-2
建設業	中規模企業	44	42	-2	44	+2
	小規模企業	15	10	-5	13	+3
	計	21	16	-5	18	+2
不動産業	中規模企業	21	10	-11	20	+10
	小規模企業	-2	-4	-2	7	+11
	計	9	2	-7	13	+11



## <業種別の業況・売上高・収益>

**製造業** 製造業の今期の**業況**は5ポイント増の19と、やや好調感を強めました。来期は1ポイント減の18と、ほぼ横ばいとなる見通しです。**売上額**は1ポイント増の21と、ほぼ前期並みに推移し、来期も変わらず21となる見通しです。**収益**は2ポイント増の17と、ほぼ横ばいで推移し、来期は1ポイント減の16となる見通しです。

**卸売業** 卸売業の今期の**業況**は1ポイント減の6と、前期より横ばいとなりました。来期は5ポイント増の11と、少し好調感を強める見通しです。**売上額**は6ポイント減の5と、やや増加傾向を弱めました。来期は6ポイント増の11となる見通しです。**収益**は1ポイント減の10と、ほぼ前期並みの増加傾向で、来期は2ポイント増の12となる見通しです。

**小売業** 小売業の今期の**業況**は2ポイント増の▲18となりました。来期は4ポイント増の▲14と、少し不振感を弱める見通しです。**売上額**は3ポイント増の▲11となり、来期も4ポイント増の▲7と、やや減少傾向を弱める見通しです。**収益**は1ポイント増の▲13と、ほぼ横ばいで推移し、来期は2ポイント増の▲11となる見通しです。

**サービス業** サービス業の今期の**業況**は1ポイント減の3、来期は2ポイント減の1と、ほぼ横ばいで推移する見通しです。**売上額**は4ポイント減の6と、やや増加傾向を弱めました。来期も2ポイント減の4と、同様の傾向で推移する見通しです。**収益**は2ポイント減の4と、ほぼ前期並みの増加傾向でした。来期は、1ポイント減の3となる見通しです。

**建設業** 建設業の今期の**業況**は5ポイント減の16と、やや好調感を弱めました。来期は2ポイント増の18となる見通しです。**施工高**は前期と変わらず14となり、来期は1ポイント増の15と、ほぼ前期並みの増加傾向の見通しです。**収益**は2ポイント減の7と、ほぼ横ばいの増加傾向で推移し、来期は3ポイント減の4となる見通しです。

**不動産業** 不動産業の今期の**業況**は7ポイント減の2と、やや好調感を弱めました。来期は11ポイント増の13と、好調感を強める見通しです。**売上額**は3ポイント増の12と、わずかに増加傾向を強め、来期は5ポイント増の17となる見通しです。**収益**は3ポイント減の6となりましたが、来期は11ポイント増の17と、増加傾向を強める見通しです。

以上